平成 29 年 6 月 2 日

平成 28 年度　社会福祉法人武田塾事業報告(案)

１．はじめに

法人武田塾は、昨年 11 月 4 日創立 90 周年を祝しました。これまでは 10 年を節目にその都度式典を催してきましたが、平成 28 年のその日は創設者の思いの丈を全員で受け止める日として、武田愼治郎への造詣が深い柏原市立資料館学芸員の石田先生をお招きして愼治郎の人となりや武田塾の歴史について語りと映像を介して教えをいただき、「共に在る」の理念をみんなで噛みしめ確認し合いました。

小規模化への更なる推進、施設環境の整備、短期入所に対する地域からの要請等々に応えることは武田愼治郎の精神を形に表すことだとあらためて確信し、更なる前進をはかります。

２，事業の取り組み

（Ｉ）ハード面

（１）高井田苑

①二階男性フロアのユニット化

緊急保護スペースの独立した居室の改築

②各居室にテレビ配線の設置

③防犯用カメラの設置

（２）武田塾

①小規模グループケア用住宅の購入と改築

平成２９年４月開設

②三階女子フロアをユニットとして使用するための改装

独立した調理システムの導入及びダイニングルームの確保

③クラブ活動の充実・・・定期的な練習日を設ける。

④卒園児への継続支援の実行・・・居住支援、就職(転職)に向けたサポート

⑤ナビシステムの一部改良・・・主に医務日誌関係の不備の改善

（Ⅱ）業績評価

①昨年度からの変更点

・チャレンジシートの評価への導入。

・評価を５段階から６段階に細分化し、評価結果が各個に認識しやすくする。

②今後の検討課題として出された意見

・評価が悪くても給料の保障があるとの認識が蔓延している。給与への反映に移行することの具体策を提案し、実行に移す段階に来ていると考えるべき。

・有機雇用職員にも反映させて正規に移行する客観的な判断基準を作るのはどうか

・昇格や降格に反映し、明文化することも考えるべきではないか。

（Ⅲ）地域貢献事業

○わおんの会　障がいのある地域の小学生を対象に月２回の音楽療法の会

○じゃむの会　18 歳以上障がい者が毎月第 3 日曜日に集う外出(お花見、ボウリング、ハイキング等）イベント

○さえらの会　小学生以上の障がい児(者)が毎月第 3 土曜日に集うサロン風（クラフトやお菓子作り、簡単なお料理教室など)イベントを実施して数年になります。

○ゆいの会　障がい児者の保護者が、不定期に集いハイキングや料理、お菓子作りを通して楽しく気軽に過ごす会　平成２８年度は１０月に開催。

（

３．課　題

（Ⅰ）高井田苑管理者の件

○経過

・前管理者の突然の退職により理事長が管理者兼務の形で９月まで対応

・新管理者が１０月より赴任したが、病気が発覚し本年１月より病気欠勤

・再度理事長が兼務で補い、現在に至る

〇理事長が兼務した事による効果と課題

・職員に緊張感がみなぎり、士気の向上に繋がった（資格取得者の大幅増等）。

・施設の物理的環境が見直され、改築等が施された。

・法人業務、施設職務が重なることで理事長個人の大幅な負担増となった。

・早急に管理者を補充する要あり

（Ⅱ）慢性的な職員不足と解決策

・高井田苑の女子職員が慢性的に不足し、補充は喫緊の課題

・入所型施設の魅力をどのようにアピールするか

・法人内転勤の実施可能なルール作り

（Ⅲ）ホームページ作成プロジェクト

ホームページを開設して以来、基本的な内容が改定されないまま。

就活に利用している人も多いなど広報媒体としてのホームページの影響力の高さは計り知れなくなっている。

大幅な予算増を図ったことからプロジェクトメンバーを刷新し、業者の意見を取り入れた抜本改定が望まれる。